

議会だより 第68号

令和4年 第3回定例会

令和3年度 各会計決算を認定

第3回定例会が8月30日から9月22日までの24日間の会期で開催されました。

この定例会では、市長から提出された令和3年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定についてほか12議案が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決、認定、承認されました。

主な議決内容

○令和4年度いすみ市一般会計補正予算は、6億9044万1千円を追加し、総額177億5581万5千円とすることに賛成多数で可決されました。

令和4年第3回定例会の議決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて（一般会計補正予算（第5号））	承認
議案第2号	いすみ市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決
議案第3号	いすみ市ふるさと応援寄附金条例の一部改正について	可決
議案第4号	令和4年度いすみ市一般会計補正予算（第6号）	可決
議案第5号	令和4年度いすみ市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第6号	令和3年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第7号	令和3年度いすみ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第8号	令和3年度いすみ市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定

議案番号	件名	採決結果
議案第9号	令和3年度いすみ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第10号	令和3年度いすみ市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第11号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び千葉県市町村総合事務組合同規約の一部改正に関する協議について	可決
議案第12号	備品の取得について（消防ポンプ自動車）	可決
議案第13号	建設事業請負契約について（津波避難タワー建設事業）	可決
報告第1号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和3年度健全化判断比率について	報告
報告第2号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和3年度資金不足比率について	報告

決 算

審 査

報 告

令和3年度一般会計及び各特別会計決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置し、9月14日に審査を行いました。各会計の決算審査にあたっては、予算が適正かつ効率的に執行されたかどうかを重点に審査を行い、活発な質疑が行われました。

本委員会では全ての決算が認定され、9月22日の定例会最終日に、委員長より審査内容と結果が報告され、採決の結果、全ての決算議案が認定されました。

また、今後の行財政運営に反映させるため、市当局に対して次の事項を要望しました。

1. 生活保護事務については、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、生活保護世帯数が増加していることから、ケースワーカー一人当たりの担当する被保護世帯

帯数が、社会福祉法に規定する標準数を超過することのないよう要望する。

2. マイナンバーカードについては、健康保険証として利用でき、医療サービスを受けられるが、医療機関等においてマイナンバーカードの健康保険証を利用するためのシステム導入が進んでいないことから、導入促進に向けた取り組み・働きかけを推進されるよう要望する。

3. 歳出予算において、不用額の多い事業があり、事業の終期が年度末のため3月補正予算計上に間に合わなかったケースも見受けられるが、不用額が発生した状況や理由を的確に把握し、執行状況に応じ減額補正予算を計上するなど、適正な予算措置を行うよう要望する。

〔決算審査特別委員会〕

委員長	高森 和久
副委員長	半場 新一
委員	太田 雅彦 山口 朋子 石川 光男 井上 栄次

Q&A 一般質問 市政をきく

第3回定例会の一般質問は、9月1日に6名の議員から市政に関する質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案審議状況等の会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。

(第3回定例会の会議録は12月上旬に公開を予定しています。)

高森和久 議員	市立図書館設置の進捗状況と今後の見通し／地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の成果と進捗状況
魚地展弘 議員	ごみ集積所の現状と課題
井上ひろみ 議員	農業と食料を守る施策／気候危機打開に向けた取り組み／加齢性難聴者の補聴器購入
山口朋子 議員	男性トイレのサンタリーボックスの設置／健康寿命の延伸を図るための取り組み
大曾根信太郎 議員	出産・育児の経済支援／小浜地域、八幡岬・丹ヶ浦の整備／ビチャ川整備／市内交通の将来的計画
元吉栄一 議員	農業問題／福祉避難所の確保・運営に関するガイドライン

市立図書館設置の進捗状況と今後の見通し

高森和久議員

答 日本図書館協会が掲げる、図書館としての規模を設置の要件に、今後予想される人口減少を踏まえ、対応していきたいと考えてる

高森議員 昨年3月に図書館調査検討委員会から検討結果の報告書が提出されたが、図書館法と報告書にある規模を担保する考えはないか伺いたい。

生涯学習課長 市立図書館の設置については、新市建設計画に基づき実施する事業の一つでもあり、合併特例債の発行期限となる令和7年度末までに事業を完了する方向で、図書館整備に向けた協議・検討を推進していきたいと考えています。

また、施設規模については、日本図書館協会が掲げる、図書館として機能を得

るための最低限の数値基準となる規模、床面積800平方メートル、蔵書5万冊を設置の要件に、今後予想される人口減少を踏まえ、開架書棚、閲覧・学習スペース及びCD、DVD、インターネットなどの利用可能スペースを考慮し、対応していきたいと考えています。

ごみ集積所の現状と課題

魚地展弘議員

答 集積所を利用していらっしゃる方や警察署等のご協力をいただき、適切に対応していきたいと考えてる

魚地議員 ごみ集積所周辺においてカラスによりごみが散乱され、また、指定ごみ袋以外でごみを出されるケースなど、市内で多くの被害が発生していることから、市民と協同で早急に有効な手段を考えることが重要であると思うが、市としての見解を伺いたい。

環境保全課長 市では、5戸から10戸を単位としてクリーン組合を結成し、組合単位の集積所を設置の上、環境美化・分別の徹底をお願いしています。カラスによるごみの散乱については、集積所を利用している組合員の方々が対策を講じていただくよう、ご協力をお願いしたいと思います。

また、指定袋以外で出されるケースについては、収集委託業者が収集できない旨の内容を付した警告シールを貼り、搬出者への注意喚起を行い、残っている場合には後日回収をすることとしています。

なお、悪質な場合には、中身の確認をし、搬出者の特定につながるものが発見された場合には、警察署のご協力をいただき解決した事案もありますので、集積所を利用している方から相談があった場合には、適切に対応していきたいと考えています。

農業と食料を守る施策

井上ひろみ議員

答 農業経営を継続する支援対策として、今定例会に、いすみ市農業者経営継続支援事業の補正予算を計上して、今後の農業経営の維持を図っていく

井上議員 燃料、肥料、飼料、農業資材などの高騰対策を実施するよう求めますが市の考えを伺いたい。

農林課長 令和4年において、燃料、肥料、飼料等、農業関係経費が高騰していることは十分承知をしています。経費の増加により農業所得にも影響が生じ、将来的には農業経営に支障をきたすことが考えられるので、いすみ市の農業経営を継続する支援対策として、今定例会に、いすみ市農業者経営継続支援事業の補正予算を計上して、今後の農業経営の維持を図っていきます。

総務課長 病気や加齢による尿漏れ等で吸水パッドを利用する方々にとって、使用済みのパッドや紙おむつの廃棄は切実な問題ではあるものの、まだ一般的には認知されていないところです。サニタリーボックスが広く設置されることで、利用

男性用トイレのサニタリーボックスの設置

山口朋子議員

答 市役所や公民館など、市民の利用頻度が高い施設から設置を進めていく

山口議員 2人に1人が、がんと診断される時代となり、今や治療成績も格段に上がり、がんを患っても社会復帰を果たす人はとても多くなってきたことから、男性用トイレの個室に尿漏れパッドを捨てるサニタリーボックスの設置をしてはと

考えますが、市の考えを伺いたい。

総務課長 病気や加齢による尿漏れ等で吸水パッドを利用する方々にとって、使用済みのパッドや紙おむつの廃棄は切実な問題ではあるものの、まだ一般的には認知されていないところです。サニタリーボックスが広く設置されることで、利用

者の方々の不安を軽減し、安心して外出ができるようになり、使用済みパッド等がそのまま放置されることなく、誰もが清潔に気持ちよくトイレを利用することができることから、まずは、市役所や公民館など、市民の利用頻度が高い施設から設置を進めていきます。

また、他の自治体の設置事例等を参考に、通常のごみ箱と間違われることがないように、サニタリーボックスの設置とその目的について表示するなど、利便性の向上にも努めていきます。

具体的には、妊産婦への交通費助成、産後の不安を解消するため、産後ケア事業の立ち上げ、働くお母さんの看護負担を少なくするために病児保育の実施、子ども医療費助成と予防接種助成の充実、保育園児の給食費の無料化や学校教材費の助成、また、本年10月からは学校給食費の無料化を行う予定です。

出産・育児の経済支援

大曾根信太郎 議員

答 結婚、妊娠、出産、育児、教育への支援は、若い世代の皆さんが地域に定着するために必要な要素と考えますので、国・県の施策を見ながら、さらなる支援の充実を図っていく

大曾根議員 地域衰退の根本原因である人口減対策として、市独自の産時や育児に経済支援を検討する考えはないか伺いたい。

子育て支援課長 いすみ市でも少子化が進み、人口減少に陥っていますが、若い世代の皆さんが住みやすさを実感してもらうため、結婚、妊娠、出産、育児、教育と

きめ細やかな施策を実施しています。

農業者収入減少緩和対策事業」の給付金は予算額に対し、執行額が大幅に少なかったのは、制度設計が不十分だったのではないかと、また、補助効果についてどのように考えているのか伺いたい。

元吉議員 「農業者収入減少緩和対策事業」の給付金は予算額に対し、執行額が大幅に少なかったのは、制度設計が不十分だったのではないかと、また、補助効果についてどのように考えているのか伺いたい。

農業問題

元吉栄一 議員

答 収入減少した農業者に対しては、本制度の利用により、令和4年産の生産に向け事業効果は十分あったと考える

なる支援の充実を図っていきたく考えています。

元吉議員 「農業者収入減少緩和対策事業」の給付金は予算額に対し、執行額が大幅に少なかったのは、制度設計が不十分だったのではないかと、また、補助効果についてどのように考えているのか伺いたい。

農林課長 昨年度、実施しました農業者収入減少緩和対策事業ですが、農業申告者数821名に対し、給付実績者数は275名で、33.5%全体の3分の1の農業者に給付していて、小規模農家から大規模農家まで給付金を交付することができました。

給付金の交付申請を行わなかった残りの3分の2の546名の農業者に関して、収入減少率15%未満が140名で全体の17%、収入増が189名で全体の23%であり、全体の4割が想定していた減少範囲に達していない状況でした。また、その他217名の農業者に関しては、申請しない、離農、死亡などとなっています。

編集後記

平成30年12月1日から始まった私たち議員の任期も本年11月30日をもって任期満了となります。

議会だよりも第62号から私たちが編集委員となり、市民の皆様に見やすく分かりやすい「議会だより」となるように心掛け、編集してまいりました。

第68号をもって編集委員の任期も満了となりますが、今後とも、「議会だより」をご覧くださるようお願いいたします。

予算から見ると執行残が多く出ているので、制度設計がどうだったのかという懸念は生じることと思いますが、収入減少した農業者に対しては、本制度の利用により、令和4年産の生産に向け事業効果は十分あったと考えています。

【議会だより編集委員会】
委員長 黒須 美智雄
副委員長 太田 雅彦
委員 魚地 展弘
委員 久我 司

編集 議会だより編集委員会
☎0470-6211406
ホームページアドレス
<https://www.city.isumi.lg.jp>
メールアドレス
gikai@city.isumi.lg.jp

第4回定例会日程について

第4回定例会は12月に開催されます。

(詳細は12月上旬に市ホームページでお知らせいたします)